

マッサージ機構に関する技術

利用分野

マッサージ機構を搭載する製品を扱う分野であれば、どの分野でも利用可能です。

技術の必要性

マッサージ機構の構造に活用することができる技術です。

対象特許権

- ①特許第4875969号(左右独立メカ)
- ②特許第5053156号(8つ玉のメカ)
- ③特許第5766489号(8つ玉のメカ+全身ガイドレール)
- ④特許第6902327号(ローラーによるマッサージメカ)
- ⑤特許第5897861号(揉み+揉み軸方向に沿って叩き動作)
- ⑥特許第6100521号(機械式腕揉み)
- ⑦特許第6371549号(アームかつくん対策)
- ⑧特許第6770835号(AI制御(施療アームベンディング))
- ⑨特許第6289022号(メカ押し)
- ⑩特許第6445835号(四節リンクメカ押し)
- ⑪特許第6052760号(エアアーム押し)
- ⑫特許第6499820号(左右独立押し)



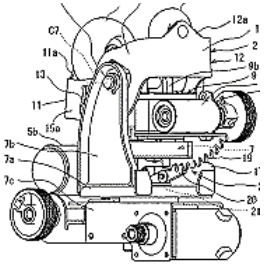
対象特許権の概要

- ①左右独立メカ
- ②8つ玉のメカ
- ③8つ玉のメカ+全身ガイドレール
- ④ローラーによるマッサージメカ
- ⑤揉み+揉み軸方向に沿って叩き動作(特許第5766507号)
- ⑥機械式腕揉み
- ⑦アームかつくん対策
- ⑧AI制御(施療アームベンディング)
- ⑨メカ押し
- ⑩四節リンクメカ押し
- ⑪エアアーム押し
- ⑫左右独立押し

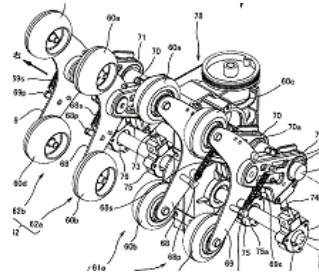
マッサージ機構に関する技術

代表図

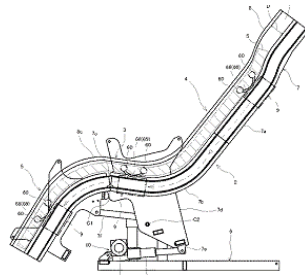
①



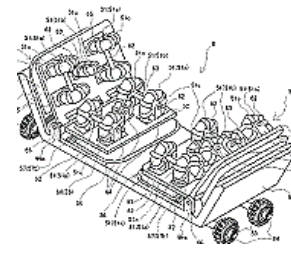
②



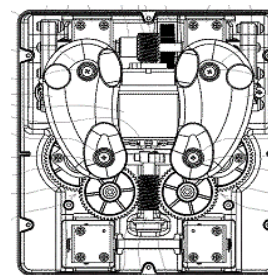
③



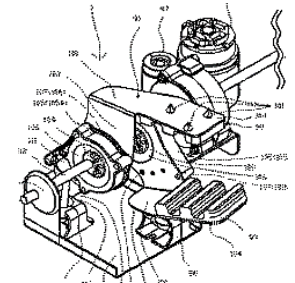
④



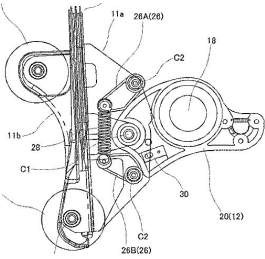
⑤



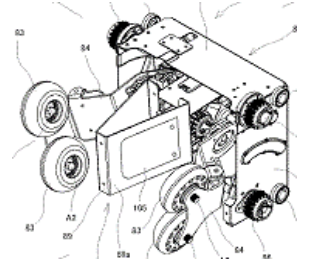
⑥



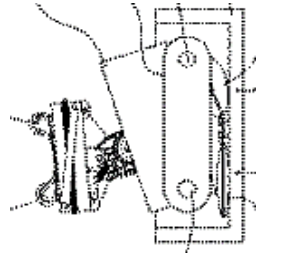
⑦



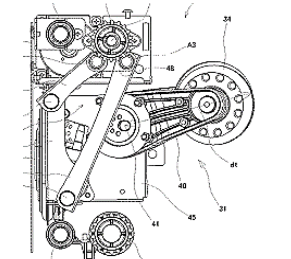
⑧



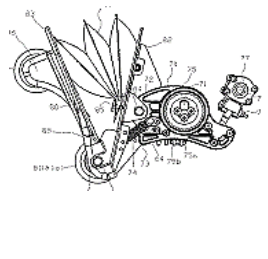
⑨



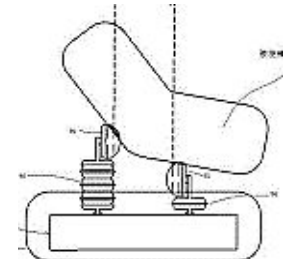
⑩



⑪

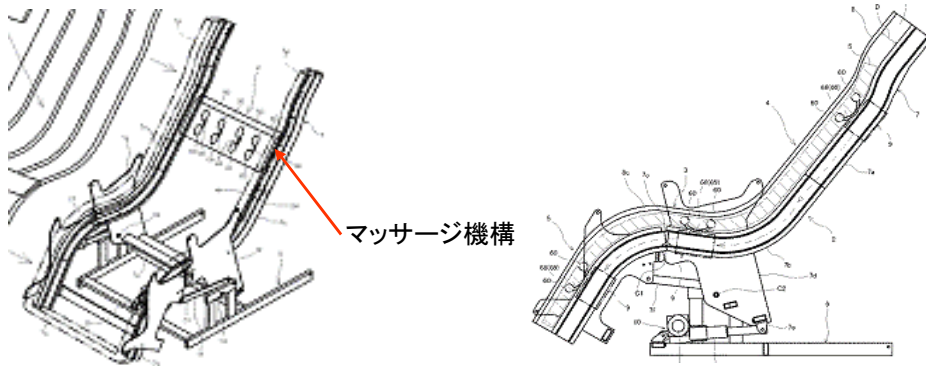


⑫



マッサージ機構に関する技術

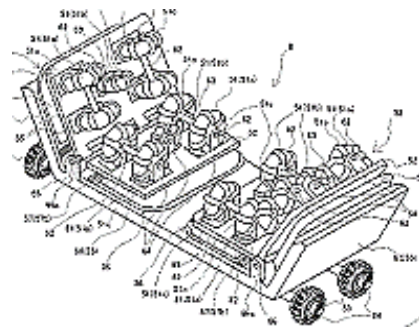
③権利満了日:2028/4/11



マッサージ機構

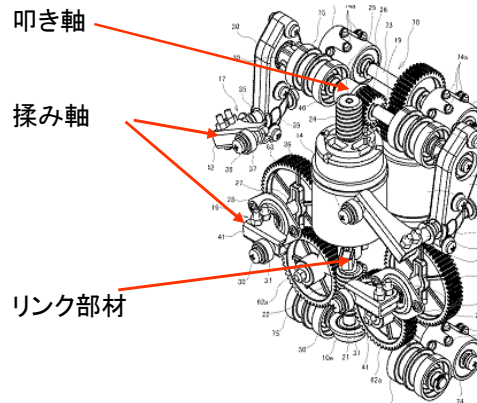
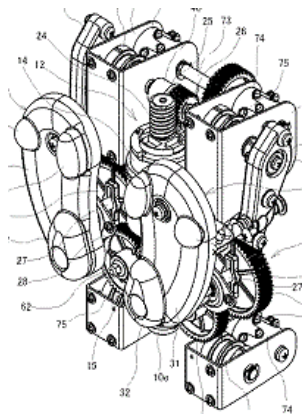
②のマッサージ機構が、背凭れ部～フットレストの間をガイドレールに沿って移動

④権利満了日:2036/3/1



施療手段は被施療部を挟持可能な対のローラーを、被施療部を挟持可能に2つ備える
 2つの対のローラーの一方は、施療手段の底面に設けられ、他方は施療手段の左側面又は右側面に設けられる
 対の施療手段は、移動手段によって、座部から背凭れ部に亘って移動可能
 対のローラーは、揺動軸を介して設けられ、駆動手段は、ローラーをそれぞれ揺動軸回りに揺動可能に構成

⑤権利満了日:2031/10/6



叩き軸

揉み軸

リンク部材

揉み動作と叩き動作を同時に行うことのできるマッサージ機構